

■主な事業の実績(つづき)

- ③私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
2008年度採択の「大学院薬学研究所「薬草園を機軸とした北方系伝統薬物の生物多様性解析から創薬まで」について、年次計画に基づき実施しました。
2. 外部資金の導入
研究活動を活性化し、科学研究費など競争的研究資金へより積極的に申請を行うとともに、寄付金や委託研究など外部資金の導入を図りました。なお、2011年度科学研究費への申請を11月に行いました。
3. 教員研究費の削減及び配分基準の見直し
2011年度から適用すべく、基礎配分額の20%削減、また、重点配分研究費として1,500万円を措置し、競争原理の導入に向けた検討を行い、決定しました。
- 【診療活動】
1. 医療機関の収入状況等
大病院については、延患者数、医療収入ともに、前年度実績を上回ったものの、予算対比では下回りました。また、歯科内科クリニックについては、延患者数は前年度実績、また予算対比では下回ったものの医療収入は上回りました。なお、大病院における病床稼働率(24床)は、47.7%(2009年度:48.6%)でした。
2. 院外処方の実施
大病院の経営改善に資することを目的として、院外処方を実施することを決定しました。実施時期については、2011年度前期を目指しています。

- 【社会貢献・連携】
1. 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の採択事業の推進
2008年度採択の「地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム」について、年次計画に基づき実施しました。
2. 北海道「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業」の選定事業の推進
今年度選定の「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業(福祉・介護人材確保普及啓発事業)」について、年次計画に基づき実施しました。
3. 高大連携
北海道札幌丘珠高等学校との高大連携に関する協定に基づき「講義・実習をはじめとする事業を行いました。
4. コミュニティバス事業
2006年度より、本学及び当別町を含む3団体の出資によるコミュニティバス(循環バス:当別町~札幌市北区あいの里)を運行しているが、学生・患者及び地域住民の利便性等を考慮し、2010年度についても継続して参画しました。
5. 本学施設の地域への開放
前年度に引き続き、総合図書館、体育館など、本学の施設を地域住民に開放しました。
6. 地域住民への健康・医療情報の提供
前年度に引き続き、「わかりやすい健康情報講座」の開催、また、本学が所在する当別町に対し、「いのちの図書」の貸出等を行い、地域住民に対し、健康・医療情報の発信を行いました。

- 【生涯学習】
1. 薬剤師「生涯研修認定制度 認定機関」として認定
認定薬剤師生涯研修認定制度が2011年3月25日付において、薬剤師認定制度認定機構より「生涯研修認定制度認定機関」として認定されました。
2. 認定看護師の養成
認定看護師は、日本看護協会が実施する認定看護師認定審査に合格し、ある特定の認定看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた者と定義づけられています。本学では、認定看護師研修センターにおいて、その養成に努めました。
3. 専門看護師の養成
専門看護師は、特定の分野で実践者をサポートできる研究・指導力と、卓越した実践力を備えた看護師と定義づけられており、日本看護協会で資格認定を行っているものです。本学では、大学院看護福祉学研究所において、その養成に努めました。
4. ナースプラクティショナーの養成
大学院看護福祉学研究所看護学専攻において、ナースプラクティショナー(Nurse Practitioner (NP)「診療看護師」の養成カリキュラムをスタートさせました。このNPは、大学院で専門的な教育を受け、症状が安定した状態にある患者を主体に、自発的に問診や検査の依頼、処方等を行うことが認められた看護師であるが、当該養成コースについては、実証的データを得ることを目的として、厚生労働省から「2010年度特定看護師養成調査試行事業」の指定を受けました。
5. 公開講座
設定テーマに沿った開講や内容の充実等、一般向、卒業生・職能人向ともに本学の特色を生かした講座を実施しました。
- 【国際交流】
本学では、大学間4大学(アルバータ大学・台北医学大学・中南大学・モナッシュ大学)、学部間4大学(同済大学・ニューヨーク州立大学バッファロー校・青島大学・インドネシア大学)と連携協定締結し、教育及び学術における国際交流を推進しています。2010年12月13日には、新たにフランスのストラスブール大学歯学部と本学歯学部との間で、学術交流協定が締結され、教員・研究者の相互交流、歯学部学生の交換プログラムの推進、共同研究の促進、学術情報・研究成果の共有が行われる予定です。
- 【広報活動】
学生募集広報
募集広報として前年度に引き続き認知広報としてのテレビCM、ホームページの機能面の拡充、メールマガジンの定期発行、オープンキャンパスを実施しました。2011年度入試においては、歯学部募集定員減、歯科衛生士専門学校でのAO方式入試早期特別枠新設及びAO方式入試2次試験・推薦入試科目変更を行いました。
- 【経営管理】
1. 自己点検評価
大学基準協会が実施する「認証評価」に申請し、「大学基準に適合している」との認定を受けました。認定期間は、2018年3月31日までです。

2. 人件費削減策の実施
国家公務員給与の改定を参考として給与規程を改正し、2010年12月給与から適用しました。
3. ポイント制人件費管理システムの適正な運用
2009年4月よりポイント制人件費管理システムを導入し、人事管理を定数管理型から人件費管理型への改革を図ってきました。各部署の総ポイントとは2012年4月1日まで3%削減することを目標としており、その目標ポイントの設定にあたり、教育体制の見直し等を踏まえ2011年4月1日における各部署基準ポイント及び3%削減対象の部署について決定しました。
- 【施設設備】
1. 歯学部解剖学実習室改修工事
歯学部解剖学実習室の空調設備等改修工事を実施しました。
2. 窓枠パッキンの交換工事
歯学部解剖学実習室の窓枠パッキン(コーキング)の交換工事を実施しました。
3. 証明書発行機の更新
証明書発行機の更新を行いました。
4. 空中歩道連結階段昇降機設置工事の実施
車いす利用者等に対応するため、当別キャンパス内空中歩道に連結する階段昇降機設置工事を行いました。
- 【情報公開規程の整備】
学園が公共性や社会的説明責任を果たし、公正かつ透明性の高い運営を実現し、構成による自主的な運営と教育研究の質的向上を目的として、情報公開規程を制定しました(制定:2011年3月10日/施行:2011年4月1日)。

- 【2020行動計画】の推進】
1. 教育力向上
教育力向上プロジェクトにおいて示された事項について、継続して検討中です。
2. 医療機関健全化
医療機関健全化プロジェクト答申に基づき実施案の具体的検討案を策定し、実施します。
- ① 個体差医療科学センター改組実施検討委員会
同委員会において策定された改組案について、2011年4月から実施します。
- ② 医療機関一元化実施検討委員会
同委員会において策定された実施案について、2011年9月開催の理事会(第二段階)、2011年度内理事会(第二段階)に申し、実施すべく検討中です。
3. 学部再編・新分野設置等
学部再編・新分野設置等プロジェクト答申に基づき、学部再編・新分野設置実施検討委員会において実施案の検討に基づき進みます。なお、2011年度内に理事会に上申する予定です。
4. 経営管理
前述のとおり一部実施済みであるが、引き続き、効率的かつ健全な経営に向け、諸方策を策定し、実施する予定です。

学校法人 東日本学園

2011年度予算について

2011年度(平成23年度)当初予算は、3月17日開催の評議員会・理事会、予算の補正は、5月26日開催の評議員会・理事会で承認されましたので、その概要についてお知らせします。

2011年度予算の概要

概要

日本私立学校振興・共済事業団の調査によると、2010年度における私立大学の入学定員未充足校の割合は、前年度の46.5%から38.1%とやや改善しています。この一因として、経済不況により地元志向が高まったことが挙げられますが、本学の状況を鑑みた場合、一部の学部では依然として厳しい状況が続いており、中期財務予測では年々厳しい財務状況となることが予測されています。

学園では、「パラダイムシフトによる新医療人育成の北の拠点づくり」を目指し、2009年に、「2020行動計画」をスタートさせました。本計画は、「医療系ブランド人材の育成」「キャンパス再構築」「医療機関の将来展望」「経営管理」の4つの柱からなっており、計画推進のため、「教育力向上」「医療機関健全化」「学部再編・新分野設置等推進」、また緊急アクションの「学生確保」を加えたプロジェクトチームを組成し、あるべき方向性について議論を重ねてきました。

一方、前述のとおり、今後の厳しい経営環境の変化に効率的、かつ、迅速に対応するため、目標の達成に向け行程を定めるとともに、実現に必要な実施検討委員会を組成したところですが、2011年度においては、国家試験対策等教育力の向上・支援及び経済的支援とともに、教育研究の質を担保しつつ、人件費を含む諸経費の効率的運用・削減、医療機関における収支改善、さらには、将来の経営を見据えた学部再編・新分野設置等の実施可能性の検討に着手する予定です。

資金収支予算書

【収入の部】				【支出の部】			
科 目	2011年度予算	2010年度予算	増 減	科 目	2011年度予算	2010年度予算	増 減
学生生徒等納付金収入	6,138,405	6,004,275	134,130	人件費支出	5,416,990	5,486,533	△ 69,543
手数料収入	80,636	83,445	△ 2,809	教育研究経費支出	2,270,433	2,386,497	△ 116,064
寄付金収入	28,000	28,000	0	管理経費支出	441,337	481,996	△ 40,659
補助金収入	976,092	1,170,644	△ 194,552	施設関係支出	131,276	123,930	7,346
資産運用収入	76,001	107,306	△ 31,305	設備関係支出	269,689	350,886	△ 81,197
資産売却収入	0	19,800	△ 19,800	その他の支出	702,687	812,736	△ 110,049
事業収入	1,498,944	1,593,691	△ 94,747	予備費	50,000	50,000	0
雑収入	259,452	333,970	△ 74,518				
前受金収入	775,617	898,603	△ 122,986				
その他の収入	581,359	674,922	△ 93,563				
資金入金調整勘定	△ 1,202,331	△ 1,358,973	156,642	資金支出調整勘定	△ 636,489	△ 611,678	△ 24,811
計	9,212,175	9,555,683	△ 343,508	計	8,645,923	9,080,900	△ 434,977
前年度繰越支払資金	6,510,004	5,573,562	936,442	次年度繰越支払資金	7,076,256	6,048,345	1,027,912
収入の部合計	15,722,179	15,129,245	592,935	支出の部合計	15,722,179	15,129,245	592,935

消費収支予算書

【収入の部】				【支出の部】			
科 目	2011年度予算	2010年度予算	増 減	科 目	2011年度予算	2010年度予算	増 減
学生生徒等納付金	6,138,405	6,004,275	134,130	人件費	5,407,021	5,451,309	△ 44,288
手数料	80,636	83,445	△ 2,809	教育研究経費	3,177,222	3,309,510	△ 132,288
寄付金	53,000	53,000	0	管理経費	510,436	557,275	△ 46,839
補助金	976,092	1,170,644	△ 194,552	資産処分差額	20,000	30,147	△ 10,147
資産運用収入	76,001	107,306	△ 31,305	予備費	50,000	50,000	0
事業収入	1,498,944	1,593,691	△ 94,747				
雑収入	259,452	333,970	△ 74,518				
繰入金合計	9,082,530	9,346,331	△ 263,801	消費支出の部合計	9,164,679	9,398,241	△ 233,562
基本全額合計	△ 275,965	△ 319,869	43,904	当年度消費支出超過額	358,114	371,779	
消費収入の部合計	8,806,565	9,026,462	△ 219,897	前年度繰越消費支出超過額	10,382,031	10,513,726	
				翌年度繰越消費支出超過額	10,740,145	10,885,505	

主な事業計画

- 【教育及び学生支援活動】
1. 文部科学省「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等プログラム」採択事業の推進
①がんプロフェッショナル養成プラン「北海道の総合力を生かしたプロ養成プログラム~大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人育成~」
②大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム)
【学生キャリア副学長との協働によるキャリア・就職支援】
2. 大学院薬学研究所薬学専攻博士課程(新課程)の設置
3. 国家試験対策の充実・支援
4. 就職・キャリア支援
5. 「夢つなぎ入試」の実施
6. 本学卒業生女子学生の奨励
7. 「歯学部特待奨学生」制度の導入
8. 学生への経済的支援
- 【研究活動】
1. 文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択事業の推進
①バイオテクノロジーセンター整備事業【QOLの向上を目指した個体差口腔健康科学の創成】
②学術フロンティア推進事業【認知症高齢者のトータルケアに関する学術的研究】
2. 外部資金の導入
3. 教員研究費の削減及び配分基準の見直し
- 【診療活動】
1. 医療機関のあり方について検討・実施
2. 院外処方体制への切り替え
- 【社会貢献・連携】
1. 北海道「福祉・介護人材サポートネットワーク構築事業」採択事業の推進
2. 公開講座
3. 高大連携
4. コミュニティバス事業
5. 本学施設の地域への開放
6. 地域住民への健康・医療情報の提供
- 【生涯学習】
1. 薬剤師支援センター
2. 認定看護師の養成
3. 専門看護師の養成
- 【国際交流】
1. 大学・学部間交流
2. 語学研修
- 【経営管理】
1. 人件費抑制
2. 予算の効率的運用・削減
- 【施設・設備】
1. 看護福祉学部棟外壁塗装及び歯学部・歯科衛生士専門学校屋上防水工事
2. 各学部講義室・歯学部基礎実習室AV機器設備更新
- 【その他】
1. 情報の積極的な公開
2. 「2020行動計画」の推進